

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】利根川下流区間 ～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る抜本的な治水対策の推進～

R3.3策定
R4.3更新

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、1都5県にまたがり、首都圏を擁した関東平野を流域として抱える利根川・江戸川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、利根川本川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して資産の集中する首都圏中枢部での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防の整備
- ・河道掘削及び導流堤処理
- ・雨水貯留浸透施設、農業用ため池等の整備
- ・開発行為に対する流出抑制施設設置の義務化、又は流出抑制の指導
- ・雨水流出抑制施設の設置又は補助・助成等の実施
- ・排水ポンプ整備、排水機場の耐水化 等

●被害対象を減少させるための対策

- ・防災指針を反映した立地適正化計画の検討・策定
- ・家屋等の移転、浸水防止対策への補助・助成等の実施 等

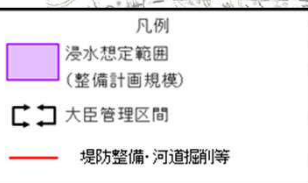
■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

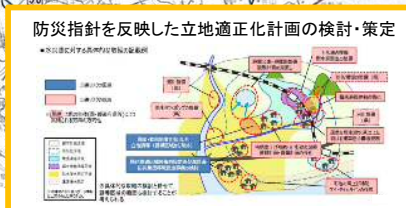
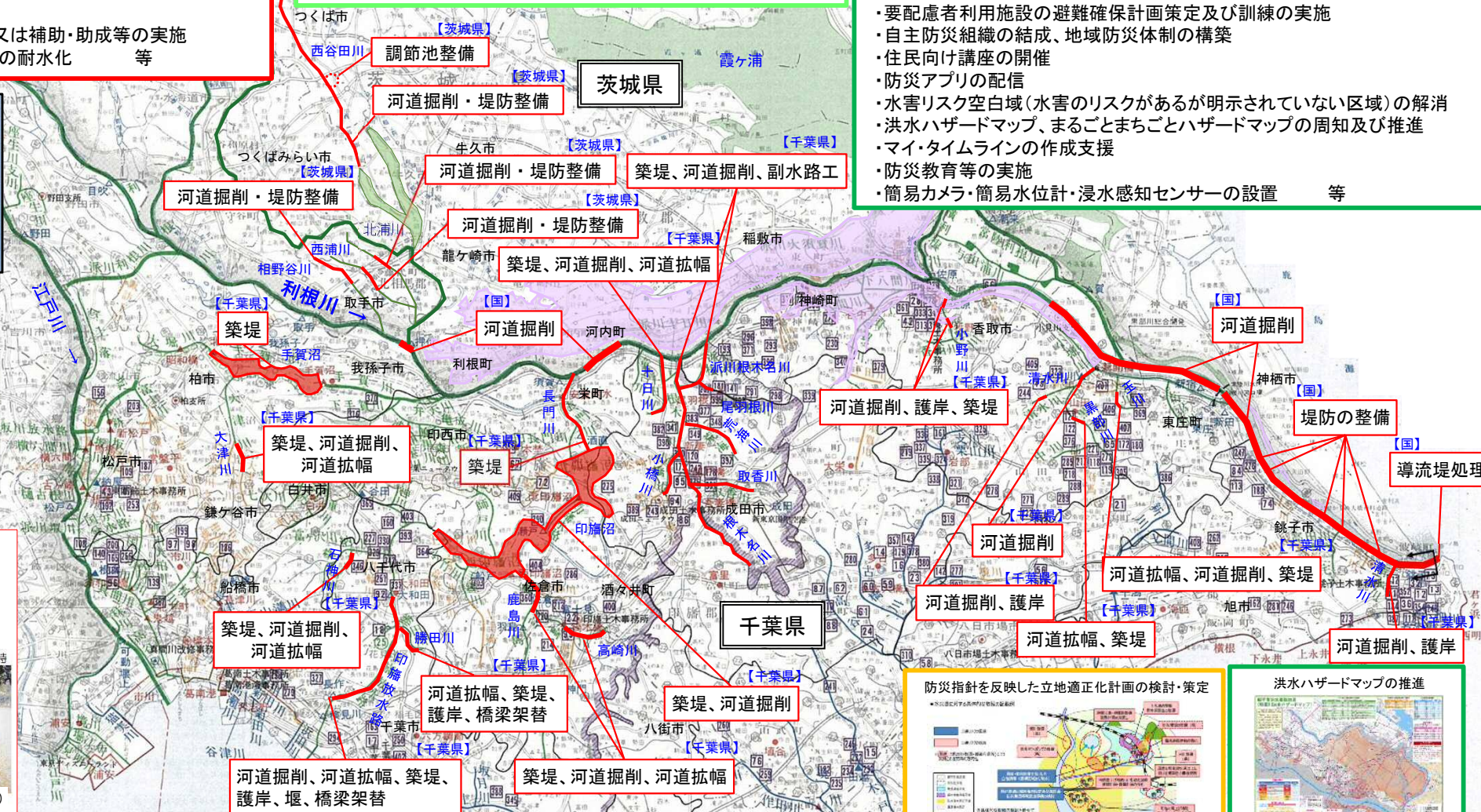
- ・情報伝達方法・内容の改善(防災無線のデジタル化等)及び伝達訓練の実施
- ・災害対策本部の体制・運用の充実
- ・内水排除のための訓練
- ・避難所開設・運用の充実(感染症対策を含む)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定及び訓練の実施
- ・自主防災組織の結成、地域防災体制の構築
- ・住民向け講座の開催
- ・防災アプリの配信
- ・水害リスク空白域(水害のリスクがあるが明示されていない区域)の解消
- ・洪水ハザードマップ、まるごとまちごとハザードマップの周知及び推進
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・防災教育等の実施
- ・簡易カメラ・簡易水位計・浸水感知センサーの設置 等



埼玉県



校庭貯留施設の設置(松戸市)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。※上図において氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には危機管理対策等は含まれていない。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『～首都圏近郊における多種多様な生物の生息・生育環境の保全・再生～』

○利根川・江戸川の自然環境は、長い年月をかけ、渓谷、湿地、礫河原、湖沼、干潟、ヨシ原等の多様な環境を形成してきたが、攪乱頻度の減少や外来種の侵入等により一部の区間では特定の動植物が繁殖し、在来種の確認数が減少している。また、高水敷の乾燥化等により、植生が単調化する等の環境の変化が懸念されている。また、河川空間は、地域の実情にあわせ、魅力と賑わいのある水辺空間の創出が望まれており、多様な利用がなされている。

○国際的な絶滅危惧種であるオオセッカやコジュリンの繁殖・越冬やヒヌマイトンボの生息など多様な生物の生息・生育場を保全再生するため、令和7年度までにヨシ原、干潟、湿地の整備による生物の生息環境の保全・再生をするなど自然環境が有する多様な機能を生かすグリーンフラの取組を推進する。

●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・湿地再生
- ・生物の多様な生育環境の保全・創出
- ・魚道整備

● 自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・ エコロジカル・ネットワークの推進
(コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり)
(植生再生、湿地の再生)
- ・ 水田を利用した、田んぼダムや冬期湛水
- ・ 森林の造成・保育、水源涵養
- ・ 官民協働による水質、水田生物の調査
- ・ 河川環境学習
- ・ 自然体験学習の支援
- ・ 舟運による水辺の賑わい

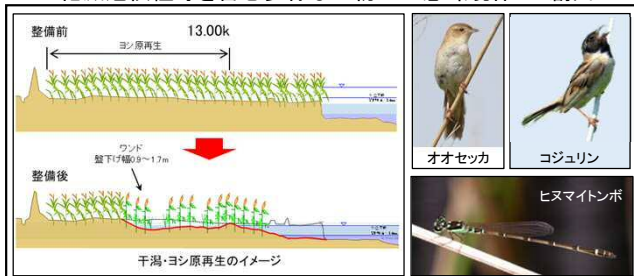
●治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息・生育環境の創出
- ・緑化によるうるおいのある水辺空間の創出
- ・植生帯整備

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・かわまちづくり
(高崎市・みなかみ町・印旛沼流域)

絶滅危惧種等を含む多様な生物の生息環境保全・創出



利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】利根川下流区間

～我が国の社会経済活動の中核を担う首都圏を抱える関東平野を守る抜本的な治水対策の推進～

R3.3策定

R4.3更新

- 利根川下流区間では、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 堤防整備、河道掘削等を推進する。
 - 【中期】 堤防整備、河道掘削等を引き続き推進し、国においては、令和元年東日本台風による浸水被害を解消する。
 - 【中長期】 堤防整備、河道掘削等を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。
- あわせて、流域の特徴を踏まえた流出抑制対策（調節池・校庭貯留、雨水貯留浸透施設等）、内水氾濫対策（排水ポンプの整備、排水機場の耐水化等）、土地利用や住まい方に関する対策（防災指針を反映した立地適正化計画の検討・策定等）の流域における対策を実施。
- 簡易水位計、簡易カメラの設置、防災無線のデジタル化、水害リスク空白域の解消、洪水ハザードマップ、避難確保計画等のソフト対策を実施。

区分	対策内容		実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水を安全に流す対策	堤防整備	国、県	無堤部の堤防整備		
		河道掘削等	国、県			
	洪水を貯める対策	流出抑制対策	千葉県・茨城県、市町	防災調節池・校庭貯留、雨水貯留浸透施設、農業用ため池		
	内水氾濫対策	内水排除対策	国、市町	排水ポンプの整備、排水機場の耐水化		
被害対象を減少させるための対策	土地利用や住まい方に関する対策		市町	防災指針を反映した立地適正化計画の検討・策定、浸水防止対策の助成		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の充実		国、千葉県・茨城県、市町	水害リスク空白域の解消		
	避難体制等の強化		国、千葉県・茨城県、市町	洪水ハザードマップ、まるとまちごとハザードマップ推進、避難確保計画の策定		
	情報発信の強化		国、千葉県・茨城県、市町	簡易水位計、簡易カメラの設置、防災無線のデジタル化		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～我が国の社会経済活動の中核を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの 取組	湿地再生	国			
	魚道整備	国			
	生物の多様な生息・生育環境の創出	国・千葉県・群馬県・栃木県・小山市			
	生物多様性の保全	熊谷市・野田市・宇都宮市・栃木市・小山市・野木町・行田市			
	広域交流拠点	国・千葉県・香取市			
	水辺空間整備	前橋市・小山市・千代田町・境町			
	かわまちづくり	高崎市・みなかみ町・印旛沼流域			
	緑化によるうおいのある水辺空間の創出	東京都			
	森林の造成・保育、水源涵養	栃木県・群馬県・森林整備センター			
	エコロジカル・ネットワークの推進 (コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくり) (植生再生、湿地の再生)	国・各県・各市町			
	河川環境学習	国・市川市・鎌ヶ谷市・高崎市			
	舟運による水辺の賑わい	取手市・印西市			

気候変動を
踏まえた更
なる対策を
推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

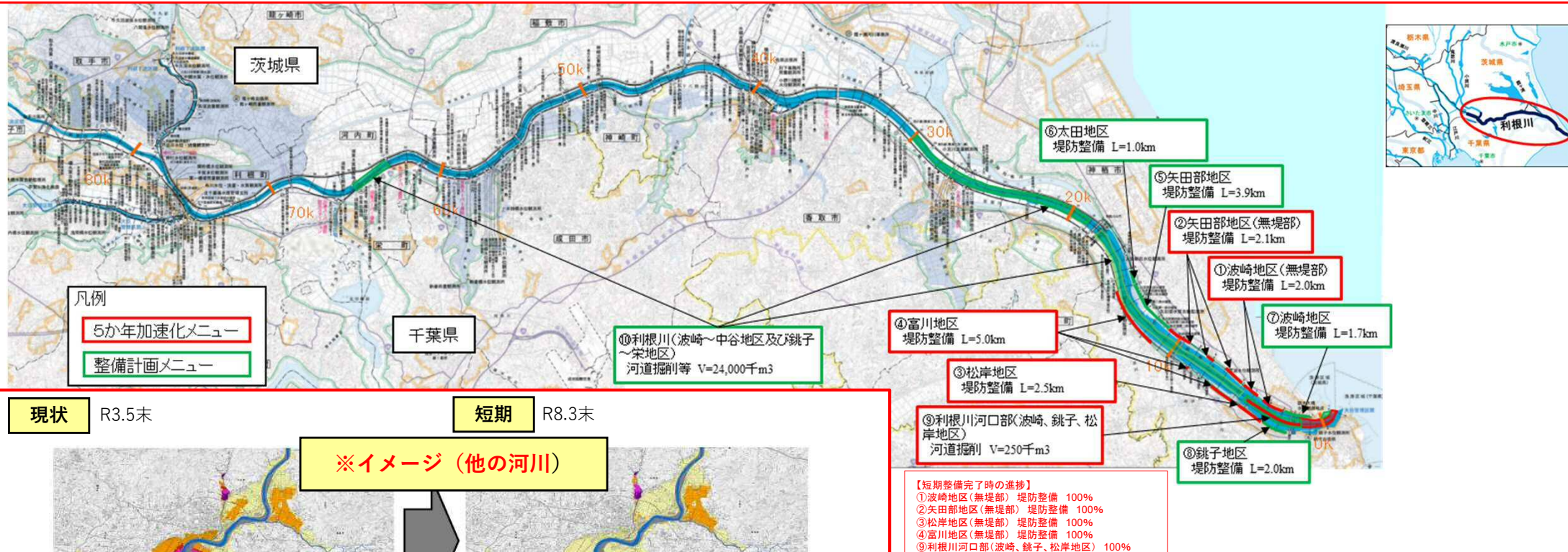
利根川・江戸川流域治水プロジェクト 利根川下流区間

進捗と効果(R4.3版)

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る抜本的な治水対策の推進～

- ・利根川下流部の堤防整備、河道掘削等を推進する。
- ・無堤部の堤防整備がR7に完成することにより、令和元年東日本台風により浸水した無堤部地区の浸水被害を解消することが可能。

短期整備(5カ年加速化対策)効果：河川整備率 約52%→61%(整備計画規模) ※利根川・江戸川流域治水プロジェクト全体



現状 R3.5末

短期 R8.3末

※イメージ(他の河川)



注：洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)に基づき、利根川(直轄管理区間)が氾濫した場合に、浸水深が0cmより大きい浸水範囲をシミュレーションにより予測したものである。

注：想定最大規模については、平成29年7月に公表した洪水浸水想定区域図である。

注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

注：国管理区間からの外水氾濫のみを考慮し、指定区間での越水による流量低減は考慮している。

注：国直轄事業の実施によるものであるが、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

算出の前提となる降雨 利根川流域の3日間総雨量
高頻度(1/10):200mm 中高頻度(1/30):251mm 中頻度(1/50):274mm
中低頻度(1/100):305mm 低頻度(1/200):336mm 想定最大規模:491mm

【短期整備完了時の進捗】

- ①波崎地区(無堤部) 堤防整備 100%
- ②矢田部地区(無堤部) 堤防整備 100%
- ③松岸地区(無堤部) 堤防整備 100%
- ④富川地区(無堤部) 堤防整備 100%
- ⑨利根川河口部(波崎、銚子、松岸地区) 100%

R3

整備箇所・内容		短期	中期	中長期(～R24)
①	波崎地区(無堤部) 堤防整備			
②	矢田部地区(無堤部) 堤防整備			
③	松岸地区(無堤部) 堤防整備			
④	富川地区(無堤部) 堤防整備			
⑤	矢田部地区 堤防整備			
⑥	太田地区 堤防整備			
⑦	波崎地区 堤防整備			
⑧	銚子地区 堤防整備			
⑨	利根川河口部(波崎、銚子、松岸地区) 河道掘削等			
⑩	利根川(波崎～中谷地区及び銚子～栄地区) 河道掘削等			

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～我が国の社会経済活動の中核を担う首都圏を抱える関東平野を守る抜本的な治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：61%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



9市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



1,276施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 120箇所
（令和3年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 4施設
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



2市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 103河川
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 7団体
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保
計画 洪水 6,875施設
土砂 261施設
（令和3年9月末時点）

個別避難計画 70市町村
（令和4年1月1日時点）

※下線は利根川水系流域全体での集計値

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【茨城県 河道掘削（相野谷川）】



【千葉県 河道掘削（根木名川）】



洪水を安全に流すために河道掘削を実施。

被害対象を減少させるための対策



【龍ヶ崎市 小貝川決壊40年シンポジウム
～龍ヶ崎市市民防災フェア2021～の開催】

小貝川堤防決壊から40年の節目に当時の災害を思い起こし、災害の記憶を持たない世代へ引き継ぐとともに、近年激甚化している災害に対する危機意識を高めることを目的に「災害経験の伝承」をテーマとして開催。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



【成田市 マイ・タイムライン講習会の開催】

水害時に自らの安全を確保できるように、住民向けのマイ・タイムライン作成講習会を実施。